

試験結果報告書

生体のストレス軽減効果試験

平成30年4月24日

株式会社 ハッピートーク 殿

遠赤外線応用研究会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

報告書 No.218S - 877

本件についてのお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

〒542-0081
大阪市中央区南船場4-9-11 順横ビル3F

遠赤外線応用研究会
TEL 06-6251-7619

試験結果報告書

No.218S- 877
平成30年4月24日

株式会社 ハッピートーク 殿



遠赤外線応用研究会
〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 ゼロ磁場発生シールの貼付使用による生体のストレス度低減効果を確認するため、使用前を対照として比較検証する。

試料 ゼロ磁場発生シール

試験条件 1) 試験日時 平成30年4月23日
2) 測定機器 アミラーゼモニター<(株)ニプロ製>

試験方法 健康なモデル(女性57才)を被験者とし、測定環境に30分間慣らした後、唾液によるストレス度を測定した。次に、ゼロ磁場発生シールを首2ヶ所、肩2ヶ所、背中2ヶ所、計6ヶ所に貼って使用し、60分後に同様に測定した。

試験結果

生体ストレス度測定値

	使用前	使用60分後	低減値
ゼロ磁場発生シール	49	44	-5

(単位:KIU/L)

考察 生体の健康度を示す目安の一つであるストレス度は、ゼロ磁場発生シール60分使用後で5低減した。この要因が個人差によるものかどうかは分からないが、少なくともゼロ磁場発生シールを長期に渡って使用することで、生体の健康目安の一つであるストレス度がさらに低減される可能性が示唆された。尚、測定は各3回ずつ実施し、その平均値とした。ちなみに、学会でのストレス度の目安は次の通りである。

0~30	KIU/L	ストレスなし
31~45	KIU/L	ややあり
46~60	KIU/L	あり
61~	KIU/L	大いにあり

KIUのK=Kg、I=国際単位、U=ユニット

本報告書は供試試料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

以上